

聖学院大学講義メモ

「ボランティア論」という名の講義科目が聖学院大学（埼玉県上尾市）で開講されています。毎年、神楽公演を経験した学生スタッフがゲストスピーカーとして登場、受講生の前で活動状況を報告しています。今年で三回目となる発表機会。学生スタッフは講義準備をして、教室で同世代の受講生に神楽ボランティアの特徴について紹介しました。

一限目に登壇した学生スタッフは、馬場綾音（成城大2年）、二限目に登壇したのは柴田南帆（東洋大3年）でした。なお、聖学院大学の木伏倭望君がサポートしてくださいました。

この講義を担当している川田虎男先生からは、「いい内容の講義だった」という評価を頂戴しました。その後、大学近くのファーストフード店で反省会を開催しました。外は、かなり冷たい風が吹き荒れておりました。

馬場、柴田とも講義のための原稿を用意しておりました。せっかくの機会なので、学生スタッフが神楽公演ボランティア活動について、どのようなことを同世代に伝えたのか、ウェブにアップしてみよう、ということになりました。私たち学生スタッフの考え方を少しでも知っていただけたら幸いです。どうぞ一読ください。

学生スタッフ

柴田南帆（東洋大学3年）

馬場綾音（成城大学2年）